

# 患者の皆様へ

令和4年10月12日

企画情報部

現在、企画情報部では、2010年から2021年に厚労省に申請するNDBデータの中から、ICDコードが肺非小細胞がんに記載されている症例(2010-2021) 約1,215,500例を対象として、実臨床データとして解析する臨床研究を行っています。

この研究では患者さんの診療情報などを利用させていただきます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口までご連絡ください。

## 1. 研究課題名

「NDBデータによるわが国の肺非小細胞がんに対する化学療法の現状分析」

## 2. 研究の意義と目的

肺非小細胞がんは、年間13万人発症する肺がんの85%を占め、わが国でも最も患者数の多い癌であり、その標準化学治療は時々刻々と変わってきている。特に近年分子標的治療薬、免疫チェックポイント阻害薬は大きく生命予後を変えつつある。しかしその数は多く、また施設間で異なるために、治験データ以外では全国における実臨床データとしての大規模な成績はまとめられていない。本研究はわが国で行われている肺非小細胞がんの化学療法を、全レセプトデータの集積であるNDBを用いて実臨床データとして解析することにより、本邦における各薬剤の使用とその効果について検討を行うものである。外国においても1億2千万人を対象にした均一集団のレセプトデータは存在せず、諸外国においても例のないデータ解析となる。

## 3. 研究方法

研究期間：倫理審査委員会承認後～2024年3月31日

利用方法：NDBに申請して得られた匿名加工レセプトデータの一部を解析する。すべて既に匿名加工されたデータであり、患者様への同意説明は行いません。

## 4. 利用又は提供する試料・情報の項目

厚労省から受理した肺非小細胞がんのICDコードを含むNDBのレセプトデータ

## 5. 個人情報の取り扱いについて

本研究に用いる医療情報は、セキュリティカードを用いて入場が記録される職員エリア内の企画情報部鍵付きの印刷閲覧室内部において設置され、その内部のさらに鍵が掛かる研究室で保管されます。

## 6. 外部への試料・情報の提供

なし

## 7. 研究組織

千葉大学大学院医学研究院	医学部附属病院	企画情報部	准教授	鈴木 隆弘
			名誉教授	高林 克日己
			特任研究員	安藤 文彦
	腫瘍内科	教授	滝口 裕一	
		講師	大野 泉	
	臨床研究開発推進センター	特任助教	斉藤 合	

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づいて提示を行っています。

本件のお問合せ先：千葉大学医学部附属病院 企画情報部  
当院における研究責任者：企画情報部 診療教授 鈴木隆弘

043 (222) 7171 内線6473